

2019 年度実施概要

学校名

気仙沼市立大島小学校

採択活動名

「みどりの真珠プロジェクト」 大島の海が育てる深い学び

取り組みの概要

今年度のテーマを「大島の海が育てる深い学び」として、地域資源である自然、養殖業、それらをつなぐ人材を生かした活動を充実させながら、ふるさと大島の自然や環境を見つめ、自らかかわり、調べ、気づき、大島のよさを発信しようとする児童の育成を海洋教育において目指してきた。

海洋教育に関わる学習活動としては、1・2年生は生活科との関連、3年生以上は主に総合的な学習の時間との関連により取り組み、また、各教科の中にも、海洋教育の理念を進んで取り入れ、実践を行ってきた。主な実践内容は以下の通りである。

全校	<ul style="list-style-type: none"> 海に親しむ集い…縦割り班による砂の造形展，遊泳体験，高学年による遠泳大会 大島の砂，海をより身近に感じるとともに，自慢できる海であると感じることができた。 小田の浜の清掃活動
低学年	<ul style="list-style-type: none"> 生活科の学習において，砂浜の貝を材料として利用する工作活動 鹿折小学校との交流 ミニ砂の造形展
4～6年	<ul style="list-style-type: none"> 4年生のワカメ，5年生のカキ，6年生のホタテの養殖体験 各学年が課題をもち，調べ学習や地域の講師の方々との関わりを通して，児童一人一人が海に対する思いをもって膨らませることができた。 また，児童の興味関心や養殖，地域の海に関する課題から，水産試験場の方より講話をいただいたり，漁協女性部の方に魚食体験のための調理のご協力をいただいたりしながら，様々な視点で海の恵みについて考えられるようカリキュラムを進めることができた。 他校との交流活動（4年・東神吉小学校，5年・駒場小学校） 自分たちが学んでいることを振り返り相手に伝えることや，自分たちの取組とは違う地域の活動を知ることを通して，自分たちの地域の良さや自分たちが取り組んでいる活動の希少さを改めて感じる事ができた。 自校における海洋教育発表会 児童がこれまで積み重ねてきた活動を通して，感じ，考えてきたことを発信する活動をすることにより，海によって人と人がつながってきたことを実感するとともに，自分たちが暮らす地域だけでなく，様々な地域，国々がつながっている海を持続的に利用できることの大切さを考えることができた。

活動中の写真



<低学年・ミニ砂の造形展>



<6年・ホタテの分別体験>



<5年・牡蠣剥き体験>

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. 大島の自然の豊かさにふれて（3年・総合的な学習の時間）
2. 大島の海の豊かさを感じて（4年・総合的な学習の時間）
3. 大島の海を見つめて（5年・総合的な学習の時間）
4. 大島の海と生きる（6年・総合的な学習の時間）